

東日本支部が発足 初代支部長に池田氏

JERコンクリ補改協会

JERコンクリート補改修協会管路部会は1月26日、東京・港区のベイサイドホテル アジュール竹芝で東日本支部の発足総会を開催した。初代支部長には池田英俊氏（上下水管理工業，写真）が就任した。

会の冒頭、挨拶に立った井上敬介部会長は「こうした状況下でありながら、各位のご努力で東日本支部の発足総会を開催できたことに感謝するとともに、発足に至るまでのご尽力に心から敬意を表す。発足はゴールではなくスタートだ。これから支部会員が手を携えながら、組織力を大いに活用して、活躍の場を広げていくことを期待する」と述べた。

続く議案審議では、2021年度事業計画・収支予算（案）などすべての議案が原案どおり可決

承認された。主な事業計画として、マンホール更生工法の普及・拡大のための技術研修会、および元請会社やコンサルタントなどへの勉強会の開催に加え、新規協会の確保などが掲げられた。

議案審議終了後、池田支部長は「支部長を仰せつかり身の引締まる思いだ。当支部に課せられた社会的使命と役割を強く認識し、あらゆる課題に取り組んでいく。支部会員のご協力を得て、微力ではあるが支部の発展に貢献できるよう、尽力していく覚悟だ。改めてご支援とご協力を願う」と抱負を述べた。

総会後は、日本ジッコウ・宮入篤顧問が講師を務め、研修会が行われた。

